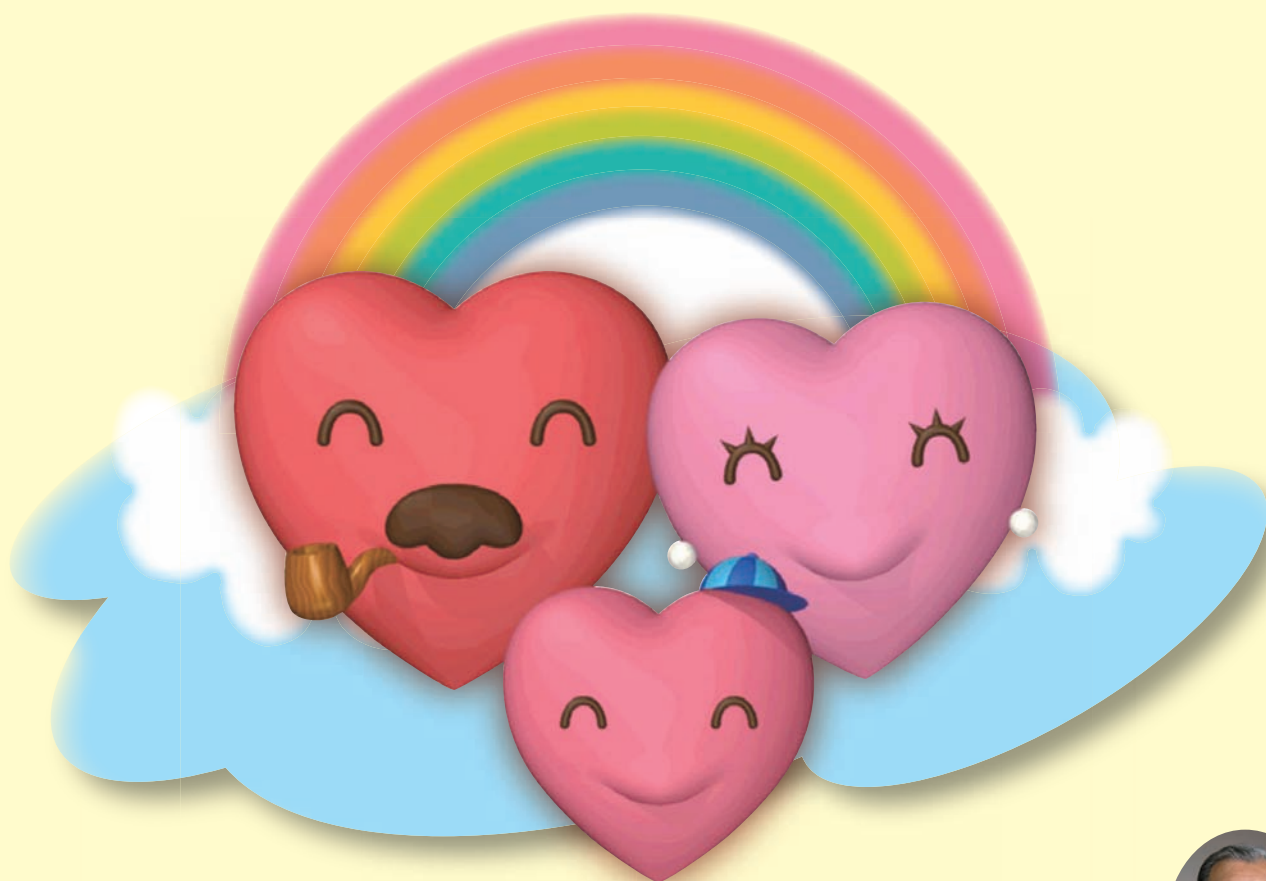


個性が輝く おんな & おとこ まちが輝く とうぎゃざー

八女市男女共同参画の実現に向けて

2009.11. 第1号



情報誌「とうぎゃざー」は、男女ともに個性と能力が十分に発揮できる八女市を願って名付けました。

発刊にあたって

八女市長 三田村 統之

真に活力ある豊かな社会を築いていくためには、男女が社会の対等な構成員として、個性と能力を十分に発揮することができる機会や場を確保することが必要です。八女市では、「個性が輝く、まちが輝く。～男女が共に参画するまちづくり～」を基本理念にこれらに沿って施策を展開しています。

この情報誌を通して、皆様に男女共同参画に関する情報が提供され、男女互いの人権尊重への理解を深めていただければと願っています。



第2次 八女市男女共同参画行動計画 施策の体系

基本理念 個性が輝く、まちが輝く。 ～男女が共に参画す

基本 目標

主 要 課 題

基 本 的 施 策

1

男女共同参画の意識づくり

1 家庭における男女
共同参画教育の推進

① 啓発・研修の充実
② 家庭での教育力の向上

2 学校における男女
共同参画教育の推進

① 男女共同参画の理念に基づく教育の推進
② 男女共同参画の教育環境作り

3 社会教育における
男女共同参画教育の
推進

① 男女共同参画に対する理解の促進
② 女性の自立やエンパワーメントをめざす
学習・教育

4 男女共同参画啓発
活動の充実

① 広報・啓発活動の充実
② 情報の収集・整備及び提供

2

男女が共に参画する社会環境づくり

1 政策・方針決定過程
への女性の参画の促進

① 審議会・委員会等における
女性委員の登用率40%の達成
② 女性のエンパワーメントの支援

2 女性が安心して働き
続けられる労働環境
の整備

① 仕事と育児や介護との両立支援
② セクシュアル・ハラスメントの防止
③ 男女の均等待遇の実現

3 農業における男女
共同参画の推進

① 男女のパートナーシップの確立
② 人材の育成に対する支援

4 商工自営業における
男女共同参画の推進

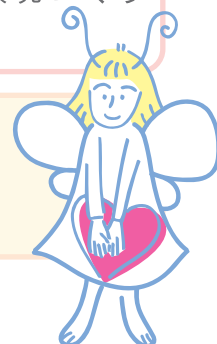
① 就業環境の整備
② 方針決定過程への女性の参画の促進

5 地域社会活動における
男女共同参画の推進

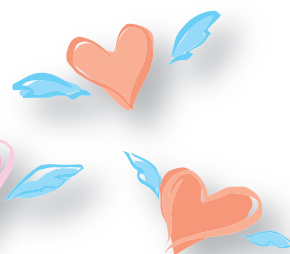
① 女性の参画を促進するための環境づくり
② リーダーの育成

6 国際的協調の視点に
立った男女共同参画
の推進

① 国際交流の推進
② 国際的動向の把握



男女が社会のあらゆる分野において、対等な構成員として喜びも責任も共に分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮し、誰もが生き生きと輝く男女共同参画のまちづくりをめざし、この計画の基本理念を「個性が輝く、まちが輝く。～男女が共に参画するまちづくり～」とします。また、基本理念を達成するため、次の3つの基本目標を設定し、これに沿って施策を展開していきます。



るまちづくり～

基本目標

主要課題

基本的施策

3

男女が自立し、安心して暮らせる生活への支援

1 生涯を通じた女性の健康支援

① 生涯を通じた女性の健康づくり
② 妊娠・出産に関する支援の充実

2 男性に関する問題の解決に向けた支援

① 男性の自立に対する支援の充実
② 男性に関する問題についての調査・研究や啓発の充実

3 子育て・介護に対する支援

① 男女共同参画の視点に立った子育て・介護の推進
② 子育てしやすい環境づくり
③ 介護に対する支援の充実

4 高齢者等の自立と社会参画に対する支援

① 高齢者・障害者の自立の支援
② 高齢者・障害者の社会参画の機会の拡大

5 ひとり親家庭に対する支援

① 生活の自立に対する支援
② 相談機能の充実

6 女性に対する暴力の根絶

① 女性に対する暴力防止のための啓発
② 暴力の被害者に対する支援の充実

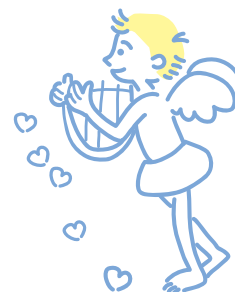
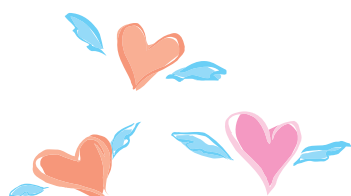
行動計画を推進するための取り組み

1 庁内の推進体制の整備

① 推進体制の整備
② 職員の意識改革

2 市民と行政が協働する推進体制の整備

① 市民の声が届く体制づくり
② 市民と行政との協働の場づくり



代表 野崎 通世 さんに

聞いてみました



「女性ネットワークやめ」の成り立ちと構成を教えてください。



1999年、国は「男女共同参画社会基本法」を公布・施行しました。その目的に沿って推進しようと、県や自治体の動きも活発になり、八女市は市と、すでに発足していた各団体の代表からなる「八女市女性問題懇話会」とで、「男女共生の社会づくりをめざす市民の意識調査」を実施し、その結果をまとめ市長に提言しています。ここでその役目を果たした「八女市女性問題懇話会」は解散となるのですが、「せっかく2年間いろいろな研修をしてきたのだからこれを生かしたい。この活動を続けてみよう。」との有志の方々の熱意で発足したのが「女性ネットワークやめ」の始まりだと聞いております。

現在は9団体・個人会員から成り立ち、男女がお互いに相手の人権を尊重しながら協力し合い、責任と喜びを共にする社会づくりを目指し、いろいろな行事や研修会を催し市民の皆様にアピールしています。



わが国では男女はすでに、充分平等ではないのですか？



私もそう思いたいのですが、先ほどの市民調査でも問題点はいろいろ出ています。県内でも最近妻が夫からDVを受け亡くなっていますが、このDVの95%は男性からの暴力です。いろいろなことに「参加」するのは女性、しかしそれをプランニングつまり「参画」するのは男性が多いと言うのが現状です。まず話し合いに「参画」しなければ、物事を推進したり、誤りを正したり、決定したりすることはできませんよね。

しかも、日本は世界の中でも、この「参画」が度外れて遅いのです。

例えば、日本は教育水準、国民所得、平均寿命など人間開発指数（HDI）は55ヶ国中8位と高いのですが、議員、専門職、技術職、管理職にしめる女性の割合及び推定所得（GEM）ではなんと55ヶ国中54位に落ちています。女性の持つ生活に密着した才能や叡智をいかしたら、日本はもっと暮らしよい国になるかもしれないのに。

国連の地位委員会では、上記の理由で日本は厳しい指摘を受けたこともあります。ちなみに、55位は「モルドバ」という耳慣れない国です。



驚きました。では、現実にとしたらよいのでしょうか？



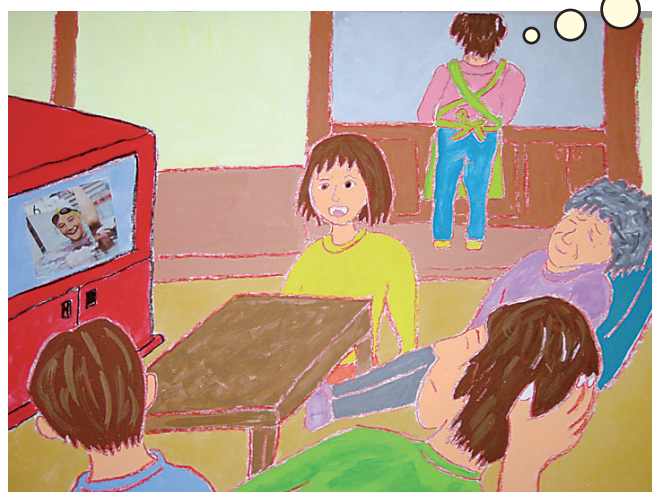
一つは八女市の審議会等委員会などで、発言できる女性の数を確保すること。今は女性の登用が26.4%です。これを40%まで高めていきたい。それには女性もあらゆる機会に、生活者としての発言を発信していく力を持つこと。つまりエンパワーメントして、安心・安全な町づくりを目指していくことだと思います。未来を担うわが子や幼い子のためにも、今女性が動くことが21世紀を変えるのではないのでしょうか。

この物語はフィクションですが、 あなたのご家庭で同じような光景がありませんか？



麦子さんは、農家に嫁いで15年、
現在四十才。

夫の米男さんと二人の子ども、
夫のお母さんの五人家族。



私だって一日中農作業して
くたびれとつとに、なんでわたしだけ
ご飯のしたくばせやんとやか！
食べたら後片付けも私・・・！
なんで・・・？なんで・・・？

麦子さんが、農作業を終えて夕飯の支度をし
ている時、家族は居間でテレビを見ています。

年々疲れが取れにくくなっている麦子さん
にとってその光景がイライラの対象になってい
ました。

その上、PTAや地域の委員等の活動もあり、
忙しい毎日を過ごしています。

私もそげんたい。
ばあちゃんのおらす
ばってんご飯の支度やら
後片づけばしとって
ください。ち！
言われんめーが……。



仕事から
帰って、バタバタ
ご飯の用意ば
してきたばい

以前は農作業や家事を手伝ってくれていたお義母さんもここ数年は麦子さんに任せっきりにする事が多くなりました。

おかーさん。ビデオ借りに行くけん つれてってーえ。



おかあさん！
体操服、どこにあるとーオ。

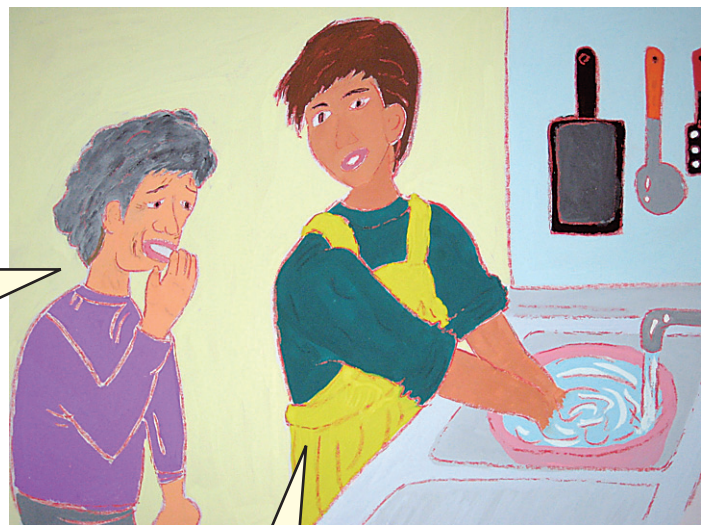
お母さんは手が離せたい！！お父さんにたのまんね！！
うちには**お母さん**ちゅう言葉しかなかっちょろかーあ。

この頃、お前が、
なんばイライラ
しよっとかち
思いよったばい。
おれは、家族の誰より
おまえんことば
わかつとるつもりたい。
任せとけ！



夕食の後片付けば、
一日交代でよかけん
かせいしてくれんね

男が台所に入るもんじゃなか！
麦子さんも麦子さんばい！
あんたにこげなこつさせて！！
わたしゃ嫁にきてから、誰にも
てつどうてもろうたことはなかばい。
麦子さんも文句言わんでするとが
あたりまえたい！！



ばーちゃん、そげな考えは古かばい。
麦子も仕事と家事ば両方してきつかけん、
ちーった手つどーてやらんとね。



お義母さんの小言にも負けず米男さんの後片付けは、しばらく順調に続いていました。

米男さんの茶碗洗いが始まって数か月たち、
農繁期で疲れ果てて帰宅したある日の夜、
米男さんと麦子さんについにバトルが勃発しました。

農繁期で疲れて帰った日の夕飯の後片けは
米男さんの当番でしたが、
うたたねをしていた麦子さんについ
カツ！となって

なして俺が
こげなこつばせやんとか！
俺もくたびれとっとぞ！
寝とらんでお前がせんか！



ウトウト…

私は結婚してから
ずーっと、毎日、毎日、
農作業ばして、掃除も、
洗濯も、子育てもして、
朝昼晩、ご飯の支度ばして、
後片付けもしよっとよ。
一日おきの後片付けぐらい
してくれたって
よかろーもん！



私は
お手伝いさん
じゃなかとよ！

麦子さんは、叫んだあと、涙が止まりません
米男さんはハッとしました。
初めて見た麦子さんの取り乱した姿に、
家族みんなどうしたらいいか解らず
オロオロするばかりでした。
米男さんは、自分の言った言葉がどんなに
麦子さんを追い詰めたのか気づきました。

米男さんは心から謝りました。

ごめん！わかったな。
ごめんな。



手伝おうか？



麦子さんの初めての爆発以来、家族から思いやりの言葉が聞かれるようになりました。

なんかすることあるね？

【お疲れさん】【ありがとう】
おもいやりの言葉が自然に言えるようになりました。

麦子さんは今思っています。

「我慢するだけじゃ解決にならんもんね。
家族みんなが無理ばせず、笑って暮らせること、
不満があったら話し合っ、お互いが少しずつ
譲り合っ、たすけあわんといかんよね。」

麦子さんは、今、家族の思いやりの気持ちが、本当に有難く、
以前にも増して『家族』の大切さを痛感している今日この頃です。



紙芝居制作 八女市男女共同参画地域づくり実行委員会

八女市男女共同参画地域づくり実行委員会

代表 小川 栄一



「八女市あすばる男女共同参画地域づくり実行委員会」何となく長い名称でしょう。

福岡県男女共同参画センターあすばるから、活動のお誘いがあつたときの正式名称です。

八女市の公募により集まったメンバーに示されたテーマは、「男女共同参画を核にした地域づくりをお願いします。」とのことでした。正直途方にくれました。何をしたらいいのやら。初回の会議は何も決まらず終わってしまいました。平成19年春のことです。

「男女一緒にすればなんばしても参画やろうもん。」もっともなご意見です。「なら、三角か四角か、ようわからんばってんみんな勉強しながら、解かったことば少しづつ地域みなさんに伝えていったらどげんね。」「よかねえ。で、どげんして伝えと？」「紙芝居ば作ろう。絵も話も自分たちで考えて。」「そりゃよかよ。」で、始めました。



足掛け三年、週一回水曜日の夜、制作に励みました。
三作できました。好評です。是非見てください。

地域に出向いて活動しています。
サロンや学習会などにおよびください。